

地域みんなで子育てサポート



子どもたちの健やかな成長は、親はもちろん社会みんなの願いです。しかし、現在の少子化、核家族化など、家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、子育てに不安や悩みを持つ家庭も多いといえます。今月は、地域で行われている子育て支援を紹介します。

親子で遊びに行きませんか 子育てサロン

●子育てサロンって何？

子育てサロンは、乳幼児の親子が自由に交流できる場です。おもちゃで遊んだり、親同士でおしゃべりを楽しんだりするほか、保育士などの専門家への相談もできます。

区内十カ所の児童会館で行われているほか、地域が主体となつて運営するものもあります。自宅から近くて子どもと一緒に行きやすいことが、地域主体の子育てサロンのメリットです。児童会館に行くには遠いなと感じていた人も、近くにあれば、気軽に利用できるのではないのでしょうか。

●地域で親子を支えます

西園小学校では、西町地区福祉のまち推進センター主催の「西園小学校SUSSE広場」が行われています。今年四月から活動が始まり、十一月からは場所を校内にあるミニ児童会館に移して行っています。会場では、子どもたちがおも

ちゃに囲まれて夢中で遊んでいたりと、参加者のお母さん同士で楽しくおしゃべりしていたりと、にぎやかな雰囲気です。



このサロンを運営する主任児童委員の加藤恵子さんは「利用者は、このサロンをとっても楽しみにしています。この場をきっかけに友達づくりをしてもらえれば。育児疲れで引きこもりがちになると思いますが、ちょっと歩けば来られる場所にあるので、気軽に来てほしい」。子育ての悩みを保育士や運営スタッフの先輩お母さんに相談できるので、不安やストレスも減るでしょう。

また、自分の子どもが将来通う学校の雰囲気事前に分かるのも良いところです。

●気晴らしができました

参加者の一人、能代裕子さんは、生後六カ月の權士くんと来ました。「西保健センターの母親教室でこのことを知り、気晴らしのつもりで来ました。子どもはにぎやかな感じが気に入ったようで、私はお母さん同士、いろいろ子育ての話ができるのがうれしいですね」と笑顔で話します。



▲能代さん親子

●赤ちゃん抱けてうれしい

授業の合間の休み時間に児童らが訪れ、親子と楽しく交流しています。友だちと遊びに来た四年生の女子児童は「赤ちゃんはかわいいし、小さい子どもと触れ合えるところがいいかな」と、赤ちゃんを抱いてうれしそうです。

